

ふっこう訓練通信

令和6年3月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：新沼・竹内）／電話：03-5654-8382

第3回 高砂地区震災復興まちづくり訓練を実施しました！

当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます
[トップページ](#)>[くらし・手続き](#)>[安心・安全](#)>[防災・国民保護](#)>[お知らせ](#)>[震災復興まちづくり訓練について](#)

1月27日（土）14時00分から「第3回 高砂地区 震災復興まちづくり訓練 <「高砂地区震災復興の進め方」をまとめよう>」を開催しました。第4号では、「第3回訓練」の様子をお伝えします！

第3回訓練（令和6年1月27日） 「高砂地区震災復興の進め方」をまとめよう」の概要

第3回訓練では、地域の方々24名にご参加いただき、「高砂地区 復興まちづくり計画（骨子案）」に関する模擬説明会を実施し、これまでの訓練をもとに作成した「高砂地区 震災復興の進め方（案）」について、グループワークで話し合いました。第3回訓練の様子は裏面をご覧ください。

第3回訓練の内容

- (1) 第2回訓練の振り返り
- (2) 模擬説明会
「高砂地区 復興まちづくり計画（骨子案）」
- (3) グループワーク
『「高砂地区 震災復興の進め方」をまとめよう』
- (4) 発表
- (5) 解説 東京都立大学 中林 一樹 名誉教授

震災復興の進め方とは…

震災復興の進め方は、「復興の資源と課題」「復興まちづくり計画（骨子案）」「震災復興手順」等を取りまとめたものです。

大規模な震災などがあった場合には、震災復興の進め方をたたき台として、地域のみなさまと葛飾区が協働して復興を進めていくことになります。

訓練では、地域特性をもとに4つの班に分かれてグループワークを行いました。グループワークで挙げられた高砂地区の資源や課題に応じた整備内容、具体的な取組について、復興まちづくり計画（骨子案）にまとめました。

【目次】

- ・はじめに
- ・被害想定について
- ・高砂地区の復興の資源と課題
- ・高砂地区 復興まちづくり計画(骨子案)
- ・普段からできる取組をチェック！
- ・高砂地区の震災復興手順
- ・高砂地区 震災復興まちづくり訓練の記録

高砂地区復興まちづくり計画(骨子案)
 -いざいざとした生活圏の確保により多世代が地域に根付く災害に強いまち-



- 駅前広場の整備と商業・業務機能の集積
- 駅約整備による市街地の安全性の確保
- 精神的市街地の整備
- 後世街のにぎわいづくり
- 安全な遊歩空間の確保
- 応急仮設住宅の確保・運営(確保)
- 現状化対策
- 基礎築断層の形成

(1) 模擬説明会「高砂地区 復興まちづくり計画（骨子案）」

復興時は、地域住民と区が連携して作成した復興まちづくり計画について、合意形成を円滑に図っていくことが重要です。そこで、これまでの訓練をもとに作成した「高砂地区 復興まちづくり計画（骨子案）」について、区職員から具体的な内容を説明する模擬説明会を行いました。



模擬説明会の様子

(2) グループワーク『高砂地区 震災復興の進め方』をまとめようの主な意見

「復興まちづくり計画（骨子案）」について

- 地域の人のかつろぎやイベントにも利用できるような大きな公園があると良いのではないかな。
- 建物が密集している地域は、道路を拡幅するのが難しい。土地・建物を共同化し、マンションにしていくことも考えられるのではないかな。

「震災復興手順」について

- 集会所に屋台式のお店を出店するなど、町会・自治会に入っていない人が、孤立状態とならないような工夫が必要ではないかな。
- 地域の企業を巻き込んで連携し、復興を進めるべきではないかな。

「平時からできる取組」について

- 各家庭で簡易トイレの準備や感震ブレーカーの設置、備蓄品の準備等、自助でできる対策をしておくべきではないかな。
- いざという時に協力できるよう、近隣とのコミュニケーションを日頃から深めておくべきではないかな。



グループワークの様子

(3) 解説 東京都立大学 中林 一樹 名誉教授

平時の防災まちづくりは、目の前にある課題解決のために取り組む、課題解決型のまちづくりです。一方、復興まちづくりは地域の方々でまちの目標を共有したのち、自分達だけでなく地域の将来のため、目標実現に取り組む、目標達成型のまちづくりです。

被災したらどうなるのか、その後平時の暮らしを取り戻すまでの復興期間は、どうなるのか、日頃から「想像」してまちづくりを考えておくことが、被災しても迅速に復興できる高砂地区を「創造」していくことにつながります。



中林先生の解説

【参加者から頂いたご意見】

- この会に参加して良かったです。中林先生も言うように、これに参加して考えることがとても良い訓練になりました。ありがとうございました。
 - 今回の復興を考えることは、日頃の防災やまちづくりを考えることにつながる、そして個人的にはこちらが重要かと思うため、このような訓練に参加できない方々（関心ある人）が参加できるような工夫、地域の取り組みに関心のない方々をどう巻き込むかの仕掛けが大事だと思います。
- この他、訓練の進め方や、平時のコミュニケーションの大切さなどについて、ご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。今後の訓練の参考とさせていただきます。

「高砂地区 震災復興の進め方」を同封しています！

3月14日(木)に行われた町会・自治会の代表者が集まる「町会長会議」で、第3回訓練結果を踏まえて修正した「高砂地区 震災復興の進め方」について確認いただきました。大規模な震災などがあつた場合には、「震災復興の進め方」をたたき台として、地域のみなさんと葛飾区が協働して復興を進めていくこととなりますので、内容をご確認いただき、ご自宅で保管していただければ幸いです。